

第26回「くまもと県民文化賞」受賞者一覧

(別紙)

平成28年1月4日
文化企画・世界遺産推進課

部門	整理番号	受賞者・団体名 年齢 代表者氏名 推薦団体 (居住地)	分野 (活動開始時期)	受賞理由
本 賞	①	【個人】 石原 昌一 (いしはら しょういち) (74歳)	彫刻 (昭和46年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内各地の公共施設等に優れた彫刻作品を提供するとともに、日展で2度特選を受賞するなど、本県彫刻分野における第一人者である。 ○ 多くの彫刻作品を通して熊本歴史と文化を発信するとともに、役職を歴任して後進の育成にも尽力するなど、本県の文化振興に貢献している。
		熊本県文化協会 (阿蘇市)		
	②	【個人】 星永 文夫 (ほしなが ふみお) (82歳)	俳句 (昭和42年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 数多くの句集・俳誌を刊行し、熊日文化賞を受賞するなど、県内におけるリーダー的存在である。 ○ 文学講座で講師を務めるなど、俳句の普及発展に尽力し、本県の文化振興に貢献している。
		熊本県文化協会 (熊本市)		
③	【個人】 山隈 政子 (やまくま まさこ) (82歳)	伝統工芸 (昭和45年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 45年余にわたり、県伝統的工芸品である肥後まりの制作に取り組み、現在は肥後まりの会の代表を務めるなど、県内におけるリーダー的な存在である。 ○ 制作の実演や後継者育成活動を通じて、肥後まりの普及継承に尽力し、本県の文化振興に貢献している。 	
	熊本市 (熊本市)			
④	【団体】 山鹿灯籠師組合 (やまがとうろうしくみあい) 代表: 畠山 慶司 (はたけやま けいじ)	伝統工芸 (昭和25年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 永年にわたり、山鹿市を代表する祭りである「山鹿灯籠祭り」で奉納される「山鹿灯籠」の制作に取り組んでおり、地域を代表する文化活動と認められる。 ○ 灯籠師が一体となって技術向上及び後継者育成に取り組んで「山鹿灯籠」の普及継承に尽力し、本県の文化振興に貢献している。 	
	山鹿市 (山鹿市)			
夢 部 門	⑤	【個人】 松下 知代 (まつした ともよ) (44歳)	邦楽(箏) (昭和49年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年12月に開催された第21回賢順記念くまもと全国箏曲コンクールで賢順賞(第1位)を受賞した。 ○ 邦楽のみならず様々なジャンルとコラボレーションし、独自の音楽を展開するなど、今後も更なる活躍が期待される。
		熊本市 (熊本市)		
	⑥	【個人】 草野 翔平 (くさの しょうへい) (17歳)	弁論 (平成26年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年7月に開催された第39回全国高等学校総合文化祭弁論部門・第61回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会で最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞した。 ○ 当功績は、県内高校生の文化活動の活性化につながるものであり、今後も更なる活躍が期待される。
	熊本県教育委員会 (熊本市)			
⑦	【団体】 尚綱中学・高等学校和装礼法部 (しょうけいちゅうがく・こうとうがっこうわそうれいほうぶ) 代表: 甲斐 正哉 (かい せいや)	和装 (平成17年)	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年4月に開催された「全日本きもの装いコンテスト世界大会」学校対抗の部で優勝するとともに、個人の部優勝者である「装いの女王」を2年連続で輩出した。 ○ 日頃から伝統文化である「きもの」の良さを広める活動をしており、今後も更なる活躍が期待される。 	
	熊本市 (熊本市)			

* 年齢は、平成28年1月4日現在